

MEGURI2040に係る安全性評価事業 船員スキル定量化事業フェーズ2・遠隔オペレータに必要な能力要件の構築

□ 背景・目的

- 自動運航船の実現に向けて国際的にも議論が活発化しているが、自動運航船のうち遠隔操縦船の実現には、陸上の遠隔制御施設（ROC）で操縦を行うオペレータが安全に本船を運航できる能力を有することが必要。
- 遠隔オペレータは、視野が制限され、取得できる情報も少なく、情報の遅延も発生する可能性あるROC内で操縦を行うこれまでにない新たな職種のため、必要な技能が明らかになっていない状況。
- このため、実船・シミュレータ実験等により、遠隔オペレータに必要な技能・訓練の要件を構築。あわせて、要件に対応した遠隔オペレータの教育訓練施設を整備。

□ 事業概要

- 実施期間：2023年度～2025年度（3年間）

□ 遠隔オペレータに必要な能力要件の構築

- 実施内容：

- 練習船、シミュレータ等での実験により、本船から取得しROCに表示する安全運航に必要な航海情報等を整理し、遠隔オペレータに必要な能力要件（技能・訓練）の検討を実施

□ 遠隔オペレータの教育訓練施設の整備

- 実施内容

- 技能・訓練の要件の検討結果を踏まえ、遠隔オペレータの教育訓練施設の整備を実施（船員養成施設等の改修）



遠隔オペレータの教育訓練施設のイメージ
（船員養成施設等の改修）



海技大学校 練習船
（海技丸）



東京海洋大学 練習船
（汐路丸）